

平成30年度 第4回櫛引地域振興懇談会 (会議録・概要)

○日 時：平成30年12月18日(火) 午後3時から午後5時まで

○会 場：櫛引庁舎 第1会議室

○出席者：敬称略

(出席委員) 小林幸一、木村英俊、小林良市、佐藤治郎作、清和ふみ子、刃持澄子  
鈴木光秀、重松 美鈴、小林 範正

(欠席委員) 菅原 勝、武田啓之、遠藤 勉、渡部聖一、佐藤正幸、上野由部

(市 側) 櫛引庁舎支所長 佐藤 浩、総務企画課長 宮崎 哲

市民福祉課長 佐藤美鈴、産業建設課長 早坂 進

総務企画課地域まちづくり企画調整主査 遠藤直樹

総務企画課総務地域振興専門員 富樫延弘

地域振興課地域振興専門員 本間育子

一次 第一

1 開 会

2 あいさつ

3 情報提供 第2次市総合計画(素案)の概要について

4 協 議

(1) 櫛引地域振興計画(案)について

(2) 櫛引地域まちづくり未来事業計画(案)について

(3) その他

5 そ の 他

6 閉 会

.....

1. 開 会

総務企画課長

1名の委員が遅れて会場に向かっているということでしたが、ただ今より平成30年度第4回櫛引地域振興懇談会を開会いたします。始めに懇談会会長であります小林区長会会長からご挨拶をお願いいたします。

2. あいさつ

会長

平成30年もあと10日余りとなりましたが、皆さんには公私ともお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。地域振興懇談会については今日で第4回目となりましたが、これまで3回の懇談会において皆さんから建設的なご意見をいただき、それらを振興計画や未来事業計画に修正を加えたり追加をしたりという中でまとめ上げられたということでございます。今日は最終的なところで修正点等があればご説明いただき、事前送付された市の第2次総合計画の概要について説明を受けて整合性に関する事など意見などあれば出していただきたいと思います。限られた時間ではありますが、忌憚のないご意見をお願いできればと思います。今日のご苦勞様でございます。

## 総務企画課長

続きまして、櫛引庁舎佐藤支所長よりごあいさつを申し上げます。

## 支所長

皆さん、こんにちは。ご苦勞様でございます。本日は、公私ともにご多用のところ、第4回の櫛引地域振興懇談会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

また、皆様方には、日頃から、櫛引地域の振興のために、大変なご協力をいただいておりますことに、厚く感謝を申し上げたいと思います。

さて、会議からずれる内容となりますが、櫛引温泉ゆ〜Townについては源泉ポンプが井戸内に落下した事故を受けて10月3日から休業している訳ですが、現在はポンプの引き上げ改修工事が完了し、再び据え直して揚湯試験などを行ってきております。この度の12月議会におきましても、指定管理者であるくしびきふるさと振興公社の態勢が整えば、新年の早い時期での営業再開も可能であると答弁しているところでございます。また、今年度は梳代スキー場の経営についても一部変更をすることとしており、土曜・日曜や祝祭日・年末年始を除いた平日日中の営業を取り止めて、ナイターに特化する形で営業をすることとなりました。これに伴ってシーズン券の値下げや中高生のリフト券の減免、湯殿山スキー場とのシーズン券の相互利用の継続を行ない、若者やファミリー層の利用拡大を図って参りたいと思っております。

さて、本日の第4回懇談会は、まず予め送付いたしました第2次総合計画（案）の概要についてご報告を申し上げますが、今月26日に最終協議となる第5回総合計画審議会を行い、新年には委員長から市長への答申、市民からのパブリックコメント、その後議会の議決により最終決定となるものでございます。その流れを受けて、櫛引地域の振興計画やその計画と連動する地域まちづくり未来事業計画についても各委員からご意見をいただく最終段階となっているところでありますので、忌憚のないご意見・ご提言をいただきますようよろしくお願いいたします。

## 3. 情報提供

### 第2次市総合計画（素案）の概要について（総務企画課長）

平成30年11月29日現在の総合計画審議会資料により、基本構想、基本計画（各庁舎地域の振興計画を含む）、未来創造プロジェクトの設定など、総務企画課長が素案概要について説明。

### A 委員

「はじめに」でも触れているように、人口減少社会が深刻だと思ふ。先ごろ外国人労働者の入国管理法も成立しているが、全国で人口減少社会にどう立ち向かうかが課題だと思ふ。総合計画でもその点について冒頭から触れているが、中身としての施策が弱いという感じがした。その背景や課題について克服するための施策もあるのだが、例えば農業に関しては新規参入者を増やすとあるのだが、担い手がどんどん減少している中で新規参入者を確保するという施策でいいのかと思つた。スマート農業で省力化を大いに進めてもらいたいのだが、文言だけになってはいないか。実施計画で、事業として具体的に何をやるのか、技術力を高めるためにこんな取り組みをするといったことが出てくると思ふのだが、庄内の農業は昭和40年代に大規模な構造改善事業や土地改良事業を行いそれから50年程経っているがその枠組みは変わっていない。もう一度、ICTなどを活用するという視点で、構造を改めるということをもっともっと取り組んでいただきたいと思ふ。担い手への農地の集約化は大いにやってもらいたい、もう一つバラバラではなく効率化するために団地化も進めていただきたい。スマート農業とは具体的には収穫の面なのかどういったところなのか、具体的なものが見えない。森林管理システムの構築とはどういうものなのかよく分からない。意欲と能力のある担い手への森林集積と施業の集約化についてはどうやって進めるのか。地域に住む立場としては相談を受ける窓口がない実情がある。

#### 産業建設課長

只今の小林委員の発言に関してですが、これはあくまでも総合計画であり、内容は基本方針と基本計画の構成になっているものです。ご指摘あったところについては、昨日認定農業者会議がありまして、新しい総合計画に関する農業関係の施策について講話をいただいたところです。今出された質問の回答にあたる部分はその会議の資料に記載されており、担い手支援やスマート農業などの書き込みがありますので、皆様に配布いたします。また、森林に関しては森林環境譲与税の会議を開いています。私もその事務局メンバーですが、そこで議論しているのは森林の集約化や森林環境譲与税の使い方など、森林を管理できない所有者についても行政側で面倒を見れる仕組みの検討等、メリハリある森林管理の議論を行っているところです。

#### B 委員

会議の内容にはそぐわない消防の関係なのですが、農家民宿の開設にあたって消防から指導を受けたのだが、消防法が厳しくなったということで、避難口の関係で都市部の逃げ場のないコンクリート建物でも田舎の窓が多い建物でも取り扱いが同じだというのが腑に落ちず、その怒りはどこにぶつけたらいいのか。地方にあった取扱い方法があってもいいのではないかと思うのだが。寒冷地仕様のような特例のような扱いはできないのかと思うところです。

#### 総務企画課長

今のお話については、我々がコメントできる立場にないので、消防本部の方に伝えたいと思います。

### 4. 協 議

#### 総務企画課長

それでは協議に入りたいと思いますが、関連として総合計画に関して触れていただいても構いません。協議の議長は小林会長にお願いします。

#### 会長

では、協議に移りたいと思います。まず(1)の櫛引地域振興計画(案)について説明をお願いします。

#### 説明

櫛引地域振興計画(案)について(総務企画課長)

前回説明した櫛引地域振興計画(案)の変更点等について、総務企画課長が説明。

スローガンについて(総務企画課地域まちづくり企画調整主査)

地域まちづくり企画調整主査が委員の事前調査の状況と経過・協議要領に関して説明。

#### 会長

それでは、2つを分けないとわかりづらくなりますので、最初は総務企画課長から説明があった櫛引地域振興計画(案)の変更点等に関して、何かあればご発言をいただきたいと思います。ご意見等ありませんでしょうか。

先ほどの説明でみなさん大方了解ということでよろしければ、次にスローガンの方に移りたいと思います。事務局の方からは事前調査なども踏まえて案の提示があった訳ですが、委員の皆さんから率直な意見をお願いします。

## A 委員

このスローガンは誰に向けたスローガンなのか。住民に向けてであれば、それを公表していかなければならないと思うし、どういう場面でこのスローガンを使っていくのか。

### 総務企画課長

先ほどの総合計画の中では、基本構想のところに「毎日おいしい ここで暮らしたい」というのがあるのだが、市民に親しみを持ってもらうためにキャッチフレーズとすることとしています。そして今後ダイジェスト版を作ったり、広報その他でPR するものですので、当然市民の目に触れることになると思います。一方、櫛引の地域振興計画についてはそういった取り組みまではしませんが、より親しみを持ってもらうために「こんなイメージになります」というように理解いただけるように考えてみたものです。機会をとらえて市民向けにPR するようになるのかなと考えております。

### 総務企画課地域まちづくり企画調整主査

この冊子そのものを各戸に配布するものではありませんが、例えば区長会など団体や組織の会議等の際に新しく定めたことをダイジェストで出すとすれば、こういったイメージ図の方が解り易いかと思いますし、そういった会合には出せるときに出していきたいと考えています。

## A 委員

東京のコンサルタントに依頼すると、櫛引の代わりに朝日を入れても山形を入れてもどこでも通用するようなものを作る訳です。「きらきら いきいき 安心して暮らせる山形」でもいい。

### 産業建設課長

産業建設課の立場からお願いなのですが、通常キャッチフレーズとして「フルーツの里くしびき」「フルーツタウン櫛引」など現在も看板を作っていますが、市役所の中では定義づけられていることは特になく、こういった会議でまとめられたものが使われる場合がありますので、余り抽象的にせず、まとめたほうがいいのかと思います。抽象的すぎると櫛引のキャッチフレーズにならないことが考えられるからです。

### 総務企画課長

資料的には花びらのような図で作っていますので、外向けに出していいかと思います。各地区の地域づくり懇談会などで参集した方々に示してもいいのかなとは思っています。

## 会長

さて、今の話なども踏まえてどうでしょうか。

### 地域振興課地域振興専門員

今の産業建設課長の発言は、非常に納得できるなと思ったところです。櫛引＝フルーツ、フルーツタウン。ただ、それだけじゃないよという部分を整理しつつ、フルーツの里櫛引のようなまとめ方は一つの方法としてあるのかなと思いました。全部盛り込みたくなるとどこでも同じになってしまうというのはあると思いますので。

## A 委員

ほかの人達も櫛引ならくだものの里ということで同意と思います。

#### 産業建設課長

フルーツタウンくしびきとか、フルーツの里くしびきだと言葉の通りも良くて、多くの人が理解しているのかなと思います。

#### 総務企画課長

今のところ、地域振興計画でスローガンを検討しているのは櫛引だけだと思います。

#### 会長

櫛引としては南部広域観光圏と表現している訳だが、櫛引のひとりよがりではないか。

#### 産業建設課長

先日も鶴岡市内の観光の会議があって、今の話を提案させていただいております。現段階では、櫛引からの一方的な提案の状況ですが、来年度以降一緒にできるかどうかを検討していただきたいとお願いしています。鶴岡市全体のDMOの動きと合わせて観光振興をどうしていくかですが、地域の観光協会は今まで通りなのですが、櫛引だけ朝日だけとなると今の鶴岡の観光が弱いというより、お客様が来るところにしか光があたっていないので、地域が連携して発信していく観光のスタイルを作ろうと投げかけている段階です。地域間の連携調整は来年度からとなります。

#### 会長

今回の計画書にあわせて1回作ると5年間はそのスローガンになるのか。

#### 総務企画課地域まちづくり企画調整主査

計画書が決定すれば、修正はないので5年間そのスローガンになります。

#### 支所長

委員の皆さんからつけた方がいいというご意見は多いのですが、スローガンを定めるにしても、総合計画のキャッチコピーでさえ専門委員会の会議1回分を費やす議論をしている状況もあります。

今日もこの会議で何がいいと言われても難しいのが現状なのかとも思います。先ほど出たフルーツタウンなどのキャッチフレーズも通常使えるものであって、ここに謳ってないから使えないというものではありませんので、委員の皆さんが良しとすればスローガンを特に定めなくてもいいのかなとも思います。委員の皆さんの意向で定めた方がいいということであれば、持ち帰って内部協議をして定めていくことはできます。ということで、あった方がいいかなくてもいいかだけこの場で決定いただき、最終的には会長と事務局預かりでもいいのかとも思います。

#### 会長

今日ここで議論してもまとめるのが難しいと思うので、事務局から再考していただいて次回の話題にさせていただければいいのかなと思いますので、ここで一旦閉めさせていただきます。

#### A 委員

振興方針のみをイメージスローガンにするのではなく、地域イメージ、例えば城下町つるおか、出羽三山はぐる、ということで特色があって地域づくりをするということで、鶴岡全体の総合力をアップしていこうということだと思うので、地域イメージとして整理できればいいのではないかと思う。

会長

では、スローガンについては次回懇談会が実施されるかわかりませんが、事務局で再度検討していただければと思います。

支所長

スローガンの件だけで懇談会を開くことにはならないと思うので、事務局の方で再度協議し、その案を委員に送付して意見聴取してまとめていくという形で進めさせていただければと思います。

会長

では、(1)については終わりとし、(2)の櫛引地域まちづくり未来事業計画(案)について、前回から変更があった点について説明頂ければと思います。

説明

櫛引地域まちづくり未来事業計画(案)について(地域まちづくり企画調整主査)

まちづくり未来事業計画(案)の変更点等とこれにかかる31年度予算要求の状況、各地区地域づくり懇談会で未来事業計画(案)の説明をした際に出された意見等について、地域まちづくり企画調整主査が説明。

会長

只今、まちづくり未来事業計画(案)の変更点等について説明がありましたが、今の説明に関して、ご意見をいただきたいと思います。何かございませんか。

B委員

先ほどの事業計画の基盤整備に関する説明で国の予算を使うということでしたが、個人に対しての負担は何かあるのですか。

産業建設課長

社会基盤整備に関しては、実際には道路や橋などインフラの整備なので、基本的にはありません。それは、国の補助金や交付税、そして市の負担金で進めるからです。ただし、農地の基盤整備に関しては個人負担金が発生します。

B委員

中山間地域の基盤整備、土地改良事業だと個人負担がいつまでも続いていつになっても安くない。今ICTの活用で土を使わないで農業を行う話題も出ているが、そういった中で基盤整備はどういった形になるのか、予算の使い方に興味があります。

産業建設課長

先ほど配布した認定農業者の会議資料を見ていただくと記載されているのですが、大型の圃場整備は1回採択されると2回目は採択されづらい状況があり、実際市内でも希望している地区があるのですが10アール(一反歩)の圃場整備に200万円かかると言われています。では、どこの地区が採択されるかは収益性の高い農作物、たとえば枝豆などに取り組むところが採択されやすいようです。逆に櫛引のケースでは、一人で20町歩も扱っているのですからこれ以上大きくはできないという方もいらっしゃるようです。

会長

ほかにはございませんか。

### C 委員

今回鶴岡市の総合計画に携わらせていただいたが、やる気を持って何かに取り組もうとする人には様々なバックアップ、チャンスを作ろうとする、チャレンジの後押しが見えてくる計画だと思いました。中学生、高校生、山形大、公益大、農業大学校にしろ、大学を卒業して戻ってくる時も何か鶴岡でやろうと思う人には、鶴岡にはこんな仕組みがあると説明して、みんなにチャンスがあり応援してくれる計画だということが十分感じることができた。農業にしろ他の産業にしろ、鶴岡に呼び込もうと思ったら呼び込める、いこいの村を農業の研修施設にしていくことや、庄内成田間の飛行機が飛ぶかもしれないということも含め、国内だけでなく世界から人を呼び込めるチャンスが回ってきている。行政任せでなく私たち市民が頑張ろうとすれば、明るい未来が感じられる。振興計画もお金をばらまくのではなく、やろうとする人には応援するという仕組みに感じられるので、子ども達にもそういった内容を伝えていきたい。櫛引のスローガンも中学生にはわかりづらいかもしれないが、多くの住民の目につく所にチラシなどあったらいいなと思います。

会長

今の発言に対して事務局で何かありますか。

総務企画課長

いい計画も住民の目に届かないと意味がありませんので、できるだけ住民に見ていただけるように工夫して行きたいと思います。

会長

全体的にで構いませんので、何かあればご発言頂きたいと思います。

### B 委員

今の発言には明るさがあり、今の中学生や高校生も地元に戻ってくるという形で、働き場もあるというイメージですがまだ現実的ではない。働く場はあるが、働く場を立ち上げることにに関して応援するので自分たちで頑張ってくださいという感じもある。慶応の先端研は成功例となっているが、それ以外にトヨタのような1,000人規模の企業を誘致するというものではない。実際戻ってきて働く場があるのかということに不安がある。

会長

今の話は大事なことだと思います。起業するのもいい訳ですが、そういったことも見えるような施策であれば確かにいい訳ですが。

支所長

あくまでも総合計画だとか地域振興計画は、そういった土台とか環境を作っていくということで、10年間の間に大手の企業が来るかもしれないし、それに備えて地域環境や社会環境を作っていくというスタンスで、雇用の場が生まれるように将来に向けた振興方策を表すものとして行政も市民も互いに努力していく計画だとご理解いただければと思います。

#### 産業建設課長

先ほど話に出たいこいの村の件は、まさしくそのような事例です。あの場所を買収して、今後、農業に従事する人たちを育成する訳で、市内のみならず市外の人達も対象にするので、起業ではありませんが、農業者育成という意味では面白い施設になるのではないかと期待感があります。このような施策を含め農業従事者が増えていけばいいなと思っています。

#### 会長

その他どうでしょうか。

特にないとすればこれをもって会議を閉じさせていただきます。

#### 会長

予定の時間を超過してしまいましたが、その分色んなご意見を頂けたのかなと思います。ご協力ありがとうございました。

その他は、何かありますか。

### 5 その他

#### 産業建設課長

情報提供を2点ほどしたいと思います。

現在、スーパー農道（王祇会館に右折地点）と西荒屋あぐり近くにある観光看板の更新をしており、年内に完成する予定です。これは鶴岡市サイン計画によるものですが、地域カラーを生かした看板ということで、それぞれにある共通項がある作り方をしておりますのでお知らせしておきます。もう一つが、最近、柏戸記念館に対するオファーがあり新潟交通のパッケージツアーが12月下旬から来年3月まで何十回となく来訪の予定です。コース的には由良に一泊で、最上川船下り、柏戸記念館、そしてこまぎの湯で昼食をとって帰るといったコースです。また、庄内開発協議会のモニターツアーでも柏戸記念館がコースに入ることになったので紹介いたします。

#### 会長

はい、ありがとうございました。

それから、区長会で2月に市長と語る会を計画しております。現在、各区長には地区からの要望・意見等の集約依頼をしているところですが、委員のみなさんも日頃考えている意見・要望があるとすれば、地区区長にお話をいただければと思います。

では、これをもって会議を閉じさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

### 6 閉会

#### 総務企画課長

どうもありがとうございました。5のその他で事務連絡がありましたけれども、先ほどのスローガンについては設けることとし、具体的な検討は事務局と会長でという話にはなりましたが、改めてみなさんにアンケートさせていただきたいと思いますので、ご意見を寄せていただけるようお願いをいたします。

これまでの4回にわたる懇談会、大変ありがとうございました。本日は、市の総合計画の案についてもご意見を頂戴しました。来月には答申の予定ですがご意見については関係部署にも伝達したいと思います。今年度のこの案件について懇談会はこれをもって一区切りとさせていただきます。地域まちづくり未来事業に関しては予算査定の最中ですが、1月末には予算内示され、議会の議決をもって決定となります。決まった段階でみなさんにも情報提供させていただきたいと思います。また、地域庁舎のあり方検討についても内部検討されており、組織機構からみた地域振



興をどう進めていくかという議論も進んでおりますのでその辺の情報提供もさせていただきたいと思っております。

繰り返しになりますが、多様性を有する鶴岡市としての魅力をさらに高めていくために、それぞれの地域が個性を発揮し、地域間が連携していくことによって市全体がいきいきとした活力あるまちを目指すということになっております。櫛引庁舎でも今後実施計画などを策定いたしますが、みなさんと力を合わせながら全力で施策の実行にあたっていききたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。今後ともお力添えをいただきますようお願いいたします。

以上をもちまして、第4回櫛引地域振興懇談会を終了させていただきます。

